



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

令和2年度飼養衛生管理徹底等による養豚産業基盤強化事業

飼養衛生管理基準に関する調査

(全国集計結果)

これは、豚熱等から守り生産環境を整えるため、飼養衛生管理基準の徹底に関して、
全国の養豚経営（約3千戸）を対象に令和2年度（令和3年3－5月）に調査した結果である。

令和2年度

令和3年8月

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)

はじめに

2018年9月に国内で26年ぶりに発生した豚熱は、野生イノシシの感染拡大で終息の目途が立たず、ワクチン接種地域も拡大しこれに伴い種豚、精液、肥育素豚の供給・移動にも大きな影響を及ぼしています。

農林水産省では令和2年7月に「飼養衛生管理基準」を改正し、令和3年3月末までに基準の全てを満たすように定めました。これを受けて農場では都道府県や関連団体等の協力を得て飼養衛生管理基準を遵守すべく対応し、これまで以上に衛生管理の徹底のために多くの時間と労力・経費を費やして国産豚肉生産のための防疫やワクチン接種等を行っています。しかし、ワクチン接種農場での豚熱発生に伴い、飼養衛生管理基準の徹底が不十分ではないかと指摘もされています。

改正された飼養衛生管理基準が完全施行される前である3月末に皆様の基準に対する対応状況とご意見、更にはもし基準の徹底ができない場合の理由等の調査を実施しました。

令和2年度の本調査は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査開始が遅れ、令和3年3月～5月の期間に実施いたしました。調査項目は、農林水産省が周知している「飼養衛生管理基準ガイドブック」を参考にした飼養衛生管理基準対応状況、豚熱ワクチン接種について、全国養豚生産者

（2,995件）、都道県にある養豚生産者組織や日本養豚協会会員に調査票の配布と、WEBを活用し実施し、有効回答数829票（廃業及び廃業予定等の無効回答を除いた数）について集計・分析いたしました。

飼養衛生管理基準は、生産を維持し続けるための豚熱等疾病対策の指標ですので、今回の調査を通して、飼養衛生管理基準の周知と課題を共有していきたいと思っております。また今回は、調査結果のみですが、この結果を基にして養豚経営に関するサポートに繋げれる情報資料等を別途作成及び配布を予定しております。なお令和3年度も引き続き調査をしていきますので、令和3年度版がお手元に届いた際はご協力の程お願い申し上げます。

最後になりましたが、この報告書を作成するに当たり、調査に回答いただきました養豚経営者の方々、また、調査の御指導、調査票の回収及び記入内容のチェック等に御尽力いただきました方々に深謝申し上げます。

令和3年8月
一般社団法人日本養豚協会(JPPA)

■ 調査結果の概要

令和3年3～5月に全国の養豚経営を対象に、「飼養衛生管理基準に関する調査」を実施しました。
(調査表配付生産者2,995、有効回答829)

※調査項目は「飼養衛生管理基準ガイドブック」より参照

(回答のあった農場)

所在地 北海道・東北21%、関東29%、九州・沖縄28%等
経営形態 個人31% 法人等69%
年間出荷頭数 2千頭未満 25% 2千～2万頭 62% 2万頭以上13%

(回答方法)

各項目とも4択。[取り組んでいる、取り組んでいるが支障や課題がある、取組前(準備中)、取り組んでいない(取り組めない含む)] (あくまでも自己判定・評価の結果です。)

(調査結果)

1 飼養衛生管理基準の取り組みに関して

[I 家畜防疫12項目(防疫ルール)]について

家保の指導、衛生管理区域の設定への取り組みは進んでいる。

しかし、下記の項目等で取り組みが未達成。

「取り組んでいる」比率が90%以下の項目

- ・飼養衛生管理マニュアルの作成
- ・衛生管理記録の作成・保管
- ・衛生管理区域内での、犬猫等の愛玩動物使用禁止に伴う対策(番犬、地域猫含む)

特に子取り雌豚200頭未満で、「取り組んでいる」比率が低い項目

- ・特定症状発見時の通報ルールの作成
- ・管理獣医師等を定めている

■ 調査結果の概要

[衛生管理区域への病原体の侵入防止]について

- ・規模の大きい生産者（子取り雌豚500頭以上）では、おおむね取り組んでいる。
- ・それ以下の中小規模では「取り組んでいる」比率が80%に満たない項目もある。
 - ・衛生管理区域への立ち入る際のルール作成（「取り組んでいる」比率が80%台）
 - ・手指等の消毒等の実施（同70－80%台）
 - ・専用衣服・靴の設置・使用（80－90%台）
 - ・車両の消毒と消毒記録等の作成（同70－80%台）
 - ・物品の持ち込みのルール作成（同60－70%台）
- ・規模の小さい農場（子取り雌豚50頭未満）では、野生動物の侵入防止措置が「取り組んでいる」の比率が80－90%で不十分。
- ・食品循環資源を利用している場合の処理等については、「取り組んでいる」比率が大中小規模にかかわらず半分程度しかないが、食品循環資源を利用していない方の回答（取り組んでいない）を含んでいるため、相違点が生じた。

[衛生管理区域の衛生状態の確保]

- ・衛生管理区域への立ち入りの際に比べ、退出する際の消毒等にに取り組んでいる比率が低い。
- ・規模の大きい生産者は、以下を除き取り組みがほぼ完了。
 - 規模にかかわらず、「取り組んでいる」比率が低い項目
 - ・畜舎毎の衣服・靴の設置とその使用（大規模80%台、中小規模50－70%台）
 - ・手指の消毒（大規模80－90%台、中小規模70－80%台）
 - ・野生動物侵入防止ネット等の設置（大規模90%台、中小規模70－80%）
 - ※野生動物侵入防止柵等の設置は90%台
 - ・退出の際の車両の消毒（大規模80%台、中小規模7－80%台）
 - ・搬出する物品の消毒（大規模70－80%、中小規模60－80%）
- ・野生生物に関しては「ネズミ・害虫の駆除」は取り組みが進んでいるが、「給餌給水設備等への野生生物の排せつ物等の混入防止」に取り組んでいる比率が中小規模では90%台。

■ 調査結果の概要

2 豚熱ワクチン接種推奨地域の設定について（回答のうち56%が推奨地域内）

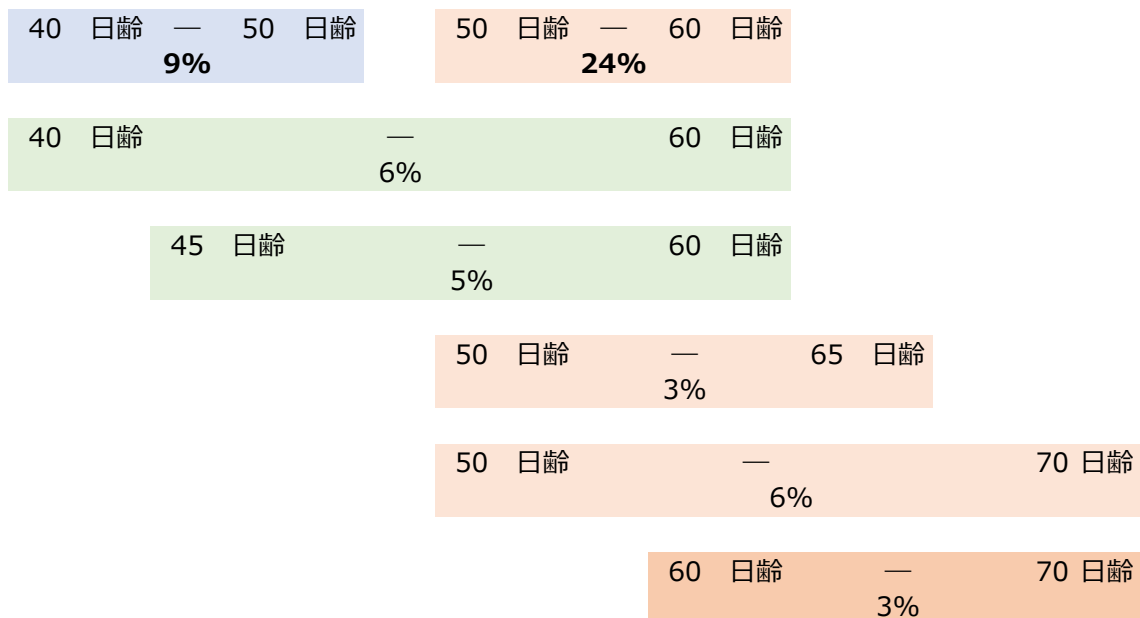
（以下は全体の比率で、うちわけでは推奨地域内の方が比率が高い）

- ・種豚の流通への支障について、購買できなくなった（18%）、支障が生じている（14%）、その他繁殖スケジュールのずれ、価格の高騰等が見られた。
- ・肉豚出荷への支障では7%。
- ・種豚の購買についての支障について、豚熱ワクチン非接種地域では41.3%が支障があるの回答であった。

3 ワクチン接種のタイミング（日齢）

- ・40日齢からの接種は全体の15%（9+6）、50日齢以前に接種しないのはおおむね50%。

主な接種日齢の分布



留意事項

1 飼養衛生管理基準への取り組みについては、令和3年度に基準が再度改正される見込みであり、改めて生産者の取り組みを調査する。

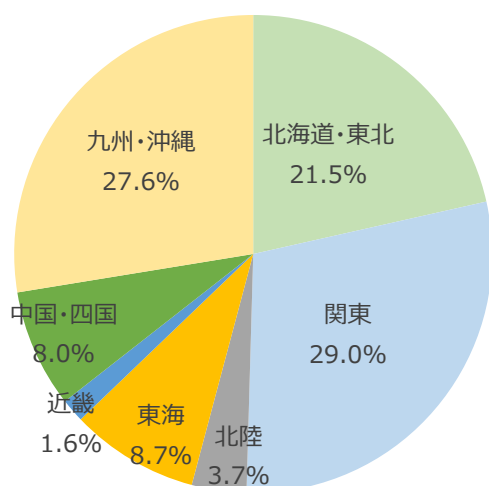
その際は、未達成（取り組めない等）の状況についてその理由等についても調査する。

2 ワクチン接種のタイミング（日齢）については、推奨値域内で豚熱の発生があることから、接種日齢の日齢の早期か、徹底等について実施状況を再度調査する。

経営体の情報・農場規模の情報

農場の所在地（都道府県）

〔図1〕 農場の所在エリア：全体（全国）数表



〔表1〕 農場の所在地：全体（全国）数表

北海道	4.7
青森県	2.3
岩手県	4.1
宮城県	4.5
秋田県	2.1
山形県	2.3
福島県	1.6
茨城県	6.5
栃木県	3.3
群馬県	5.7
埼玉県	2.2
千葉県	6.6
東京都	0.4
神奈川県	1.8

新潟県	2.8
富山県	0.4
石川県	0.5
福井県	0.1
山梨県	0.7
長野県	1.8
岐阜県	1.1
静岡県	2.1
愛知県	3.6
三重県	1.9
滋賀県	0.1
京都府	0.0
大阪府	0.4
兵庫県	0.6
奈良県	0.4
和歌山県	0.1

鳥取県	0.6
島根県	0.1
岡山県	0.7
広島県	1.0
山口県	0.5
徳島県	0.7
香川県	1.7
愛媛県	2.4
高知県	0.2
福岡県	0.5
佐賀県	0.4
長崎県	1.0
熊本県	3.5
大分県	2.2
宮崎県	8.6
鹿児島県	9.4
沖縄県	2.2

経営形態

【表2】 経営形態：全体（全国）数表

個人経営（家族労働主体）	31.0
法人経営（農事組合法人・有限会社・株式会社）	63.3
上記以外の法人経営	1.1
農業協同組合法人（農協等）の直営養豚場	0.7
その他（都道府県、公益法人、学校法人等上記以外）	3.8

N=815

(%)

【表3】 経営タイプ：全体（全国）数表

肉豚生産経営（一貫生産）	79.7
肉豚生産経営（肥育生産）	11.0
繁殖経営（子豚販売）	5.3
種豚場	4.0

N=816

(%)

飼養頭数及び年間出荷頭数

【表4】 一貫生産（母豚数）：全体（全国）数表

20頭未満	8.5
20～49頭	8.9
50～99頭	13.9
100～199頭	21.0
200～499頭	24.5
500～999頭	11.7
1000頭以上	11.5

N=719

(%)

【表5】 肥育生産（肥育豚数）：全体（全国）数表

10頭未満	5.5
10～49頭	2.7
50～99頭	3.2
100～299頭	7.8
300～499頭	6.1
500～999頭	15.0
1000頭以上	59.7

N=526

(%)

【表6】 年間出荷頭数：全体（全国）数表

400頭未満	10.7
400～999頭	9.1
1000～1999頭	14.9
2000～3999頭	19.1
4000～9999頭	22.5
10000～19999頭	10.4
20000頭以上	13.1

N=670

(%)

飼育形態と使用している飼料 ※複数回答

【表7】 飼育形態：全体（全国）数表

ウインドレス型豚舎	32.6
セミウインドレス型豚舎	19.7
開放型豚舎	79.4
放牧	1.5
その他の形態	2.9

N=814

(%)

【表8】 使用している飼料：全体（全国）数表

配合飼料	93.0
自家配合飼料	10.0
エコフィード利用（加熱処理が不要な原料）	10.6
エコフィード利用（加熱処理が必要な原料）	3.9
その他	1.4

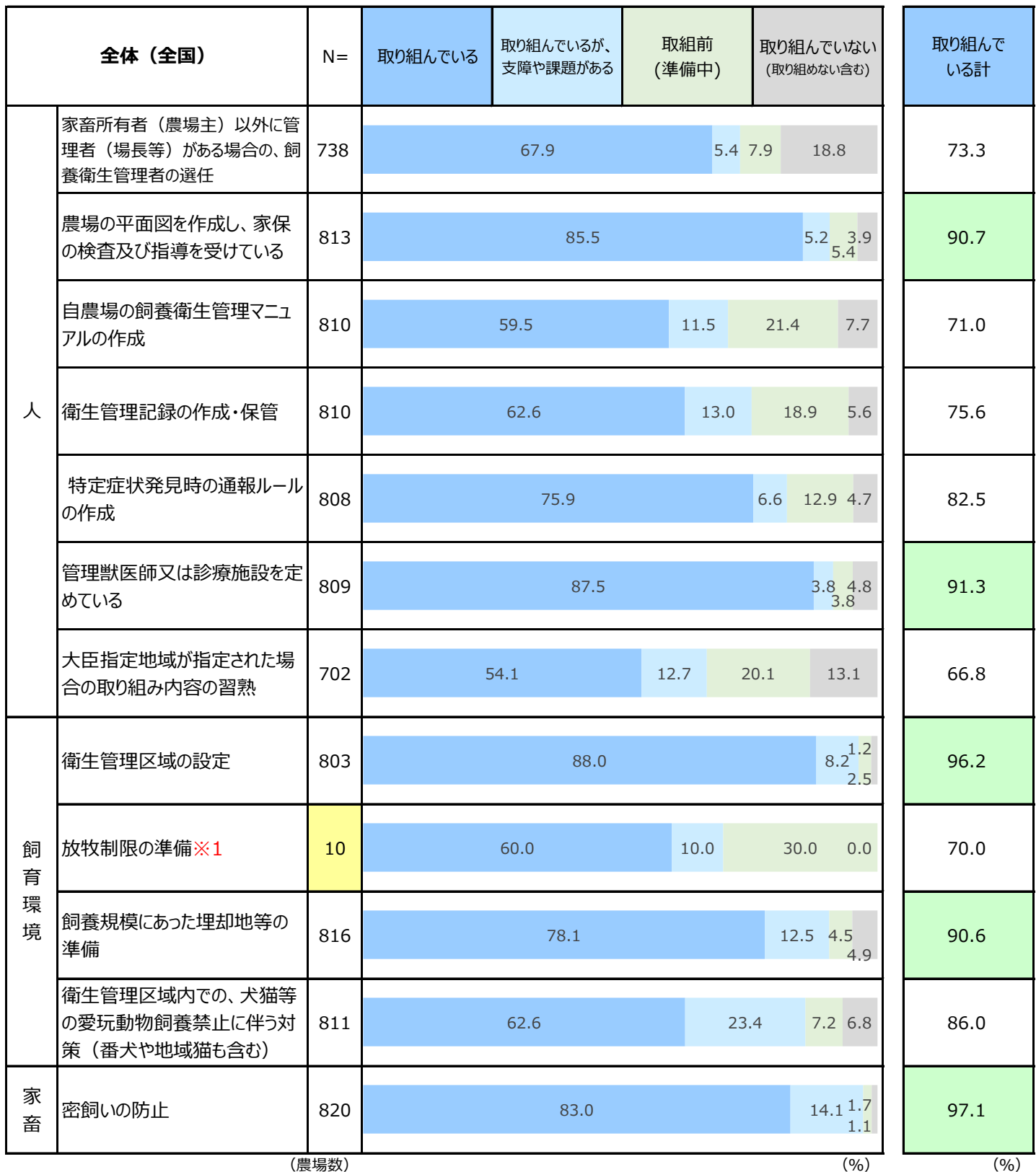
N=829

(%)

飼養衛生管理基準の取り組みに関して

I.家畜防疫（防疫ルールの作成）

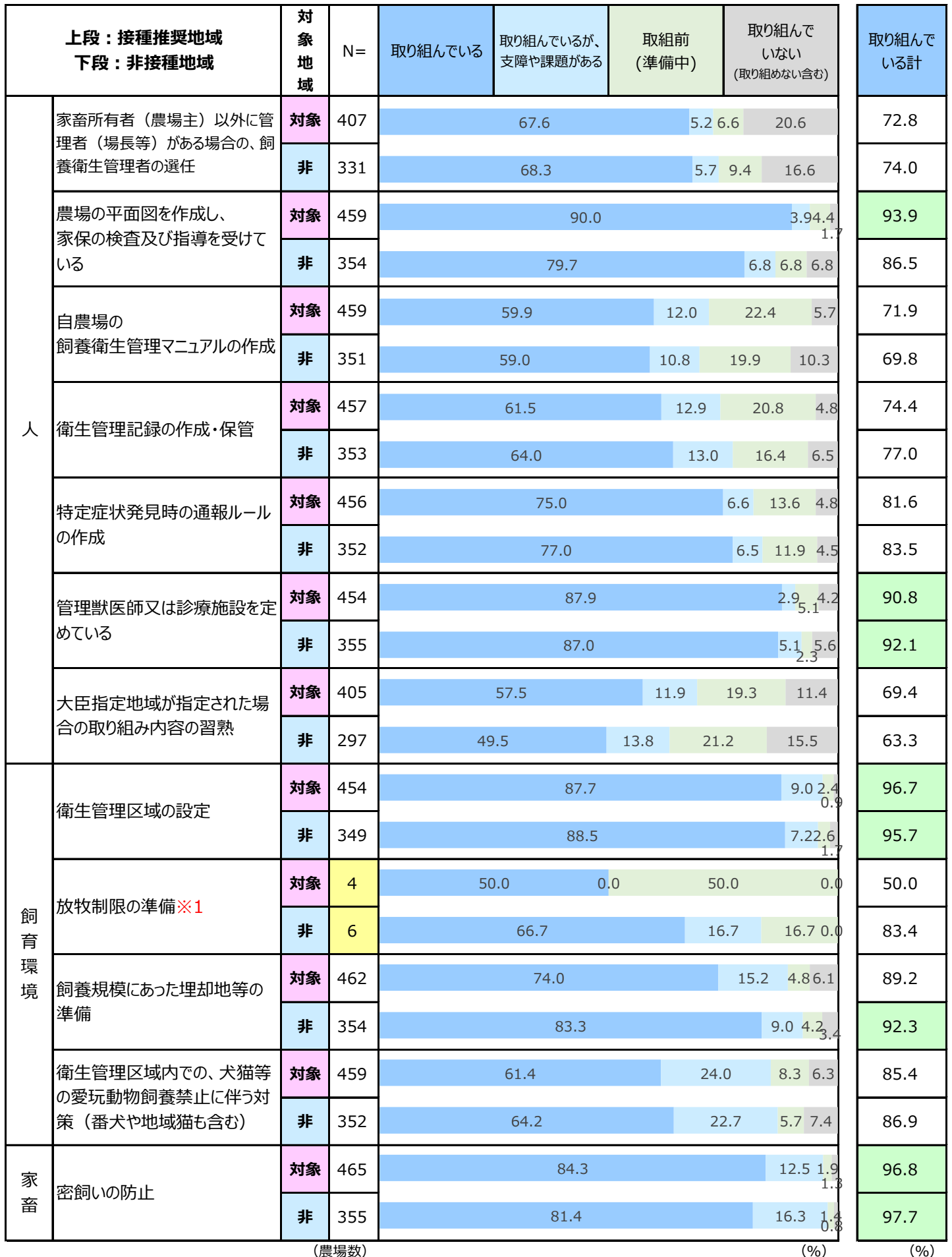
〔図1〕 家畜防疫12項目の取り組み：全体（全国）グラフ



※1：放牧をしている農場に限る

取り組んでいる90%以上にマーキング

【図2】 家畜防疫12項目の取り組み：接種推奨地域・非接種地域比較グラフ



※1：放牧をしている農場に限る

取り組んでいる90%以上にマーキング

【図3】 家畜防疫12項目の取り組み：「取り組んでいる計」各属性比較数表

		人							飼育環境				家畜
		家畜所有者（農場主）以外に管理者（場長等）がある場合、飼養衛生管理者の選任	農場の平面図を作成し、家保の検査及び指導を受けている	自農場の飼養衛生管理マニュアルの作成	衛生管理記録の作成・保管	特定症状発見時の通報ルールの作成	管理獣医師又は診療施設を定めている	大臣指定地域が指定された場合の取り組み内容の習熟	衛生管理区域の設定	放牧制限の準備※1	飼養規模にあった埋却地等の準備	衛生管理区域内での、犬猫等の愛玩動物飼養禁止に伴う対策（番犬や地域猫も含む）	密飼いの防止
N=(農場数)		738	813	810	810	808	809	702	803	10	816	811	820
全体		73.3	90.7	71.0	75.6	82.5	91.3	66.8	96.2	70.0	90.6	86.0	97.1
地域別	北海道・東北	77.6	91.5	75.5	76.7	84.0	93.2	71.6	98.3	0.0	94.3	86.9	98.3
	関東	74.2	94.8	69.4	72.1	79.5	90.0	63.9	95.7	50.0	89.8	86.2	96.7
	北陸	84.6	96.8	77.4	87.1	83.9	96.8	85.7	100.0	0.0	83.9	73.3	100.0
	東海	64.1	100.0	86.1	82.0	87.5	97.2	83.1	100.0	0.0	94.4	91.6	95.8
	近畿	66.7	84.6	84.6	92.3	100.0	91.6	60.0	100.0	0.0	69.2	92.3	100.0
	中国・四国	76.6	93.8	80.0	80.9	87.7	82.8	63.0	95.3	0.0	85.9	89.1	98.5
	九州・沖縄	69.8	81.3	59.8	72.0	79.8	91.0	58.4	93.6	100.0	90.7	83.8	96.4
経営形態	個人経営	47.7	83.4	62.0	63.9	74.4	83.9	55.1	92.8	66.7	89.9	81.5	96.0
	法人経営	82.0	94.3	74.9	79.8	85.2	94.4	71.7	98.0	75.0	90.9	87.5	97.9
	その他	91.9	86.1	77.8	91.5	94.4	97.3	70.6	97.2	0.0	91.6	97.3	97.3
経営タイプ	肉豚生産経営（一貫生産）	71.8	90.7	68.8	73.3	81.3	91.7	65.6	96.0	66.7	90.7	84.6	96.9
	肉豚生産経営（肥育生産）	77.6	91.9	77.4	83.5	83.4	88.5	70.6	98.9	100.0	88.4	90.9	98.9
	繁殖経営（子豚販売）	68.4	83.3	76.8	72.1	85.7	88.3	75.0	95.2	0.0	88.1	90.7	95.2
	種豚場	93.8	100.0	84.4	96.9	93.7	100.0	70.0	100.0	0.0	96.9	100.1	100.0
飼育形態	ウインドレス型豚舎	86.5	94.7	81.4	81.3	89.7	97.3	76.5	99.2	0.0	92.0	86.5	98.8
	セミウインドレス型豚舎	81.4	93.1	70.7	79.4	86.9	95.6	70.9	96.3	0.0	93.7	89.3	96.9
	開放型豚舎	71.2	90.1	68.6	73.7	81.4	91.3	64.0	96.1	71.4	90.0	84.9	97.4
	放牧	50.0	72.7	54.6	54.6	83.3	75.0	60.0	100.0	70.0	91.7	72.7	100.0
	その他の形態	55.0	90.9	60.9	72.7	72.7	80.9	60.0	85.8	0.0	86.4	95.6	95.7
子取り雌豚頭数別	20頭未満	66.0	87.9	63.8	82.7	78.0	84.8	60.0	93.1	66.7	88.4	86.4	96.7
	20～49頭	53.2	83.6	67.8	72.6	83.3	81.4	58.2	88.4	100.0	95.1	84.1	96.8
	50～99頭	58.0	89.7	56.7	63.5	72.2	86.8	63.1	98.0	75.0	91.9	78.4	95.0
	100～199頭	60.6	87.4	60.6	69.4	75.9	91.9	59.2	96.0	0.0	86.0	81.9	96.7
	200～499頭	79.7	96.0	72.4	72.6	84.6	95.9	67.7	96.5	50.0	88.5	86.7	98.2
	500～999頭	94.0	95.2	85.5	85.5	92.8	98.7	80.3	100.0	0.0	93.9	95.2	96.4
	1000頭以上	94.0	94.0	89.1	91.5	95.2	96.4	79.7	100.0	0.0	97.6	90.1	98.8
出荷頭数別	400頭未満	63.8	84.1	60.9	73.1	75.0	82.1	58.2	89.4	50.0	87.1	82.6	94.4
	400～999頭	52.3	87.9	67.2	74.1	79.0	82.7	63.0	96.6	100.0	94.9	83.6	96.6
	1000～1999頭	56.8	87.8	61.3	66.4	80.6	85.9	56.0	95.9	100.0	86.9	84.6	97.0
	2000～3999頭	71.2	89.0	62.2	71.4	75.4	92.0	67.2	96.1	0.0	90.6	81.7	96.8
	4000～9999頭	77.8	94.1	76.2	74.2	82.1	95.3	65.2	96.7	0.0	87.4	86.1	99.3
	10000～19999頭	91.3	97.2	84.3	90.0	97.1	98.5	86.9	100.0	0.0	92.6	97.1	97.1
	20000頭以上	94.3	93.1	90.9	96.6	94.3	97.7	81.3	100.0	0.0	96.6	89.6	98.8
ワクチン	接種推奨地域	72.8	93.9	71.9	74.4	81.6	90.8	69.4	96.7	50.0	89.2	85.4	96.8
	非接種地域	74.0	86.5	69.8	77.0	83.5	92.1	63.3	95.7	83.4	92.3	86.9	97.7

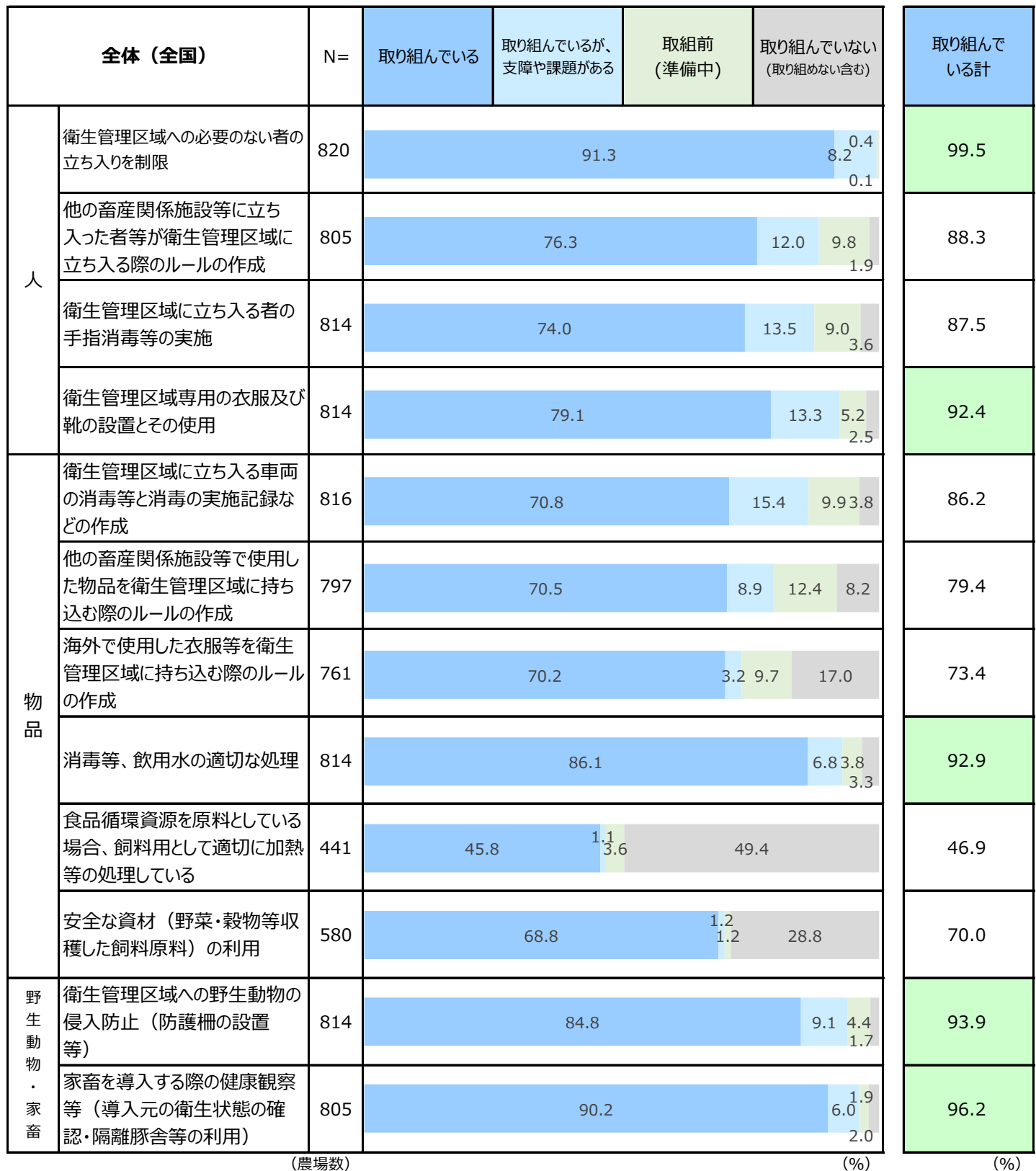
注）取り組んでいる計＝「取り組んでいる」＋「取り組んでいるが、支障や課題がある」の合計値

※1：放牧をしている農場に限る

（％）

Ⅱ.衛生管理区域への病原体の侵入防止（衛生管理区域内に持ち込ませない）

〔図4〕 衛生管理区域への病原体の侵入防止12項目の取り組み：全体（全国）グラフ



【図5】 衛生管理区域への病原体の侵入防止12項目の取り組み：接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

上段：接種推奨地域 下段：非接種地域		対象地域	N=	取り組んでいる	取り組んでいるが、 支障や課題がある	取組前 (準備中)	取り組んでいない (取り組めない含む)	取り組んでいる計
人	衛生管理区域への必要のない者の立ち入りを制限	対象	465	90.5				99.5
		非	355	92.4				99.4
	他の畜産関係施設等に立ち入った者等が衛生管理区域に立ち入る際のルールを作成	対象	455	74.5		13.0	10.8	87.5
		非	350	78.6		10.9	8.6	89.5
	衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等の実施	対象	460	72.6		14.1	9.6	86.7
		非	354	75.7		12.7	8.2	88.4
	衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置とその使用	対象	462	79.7		13.9	4.5	93.6
		非	352	78.4		12.5	6.0	90.9
物品	衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等と消毒の実施記録などの作成	対象	461	66.6		17.8	10.6	84.4
		非	355	76.3		12.4	9.0	88.7
	他の畜産関係施設等で使用した物品を衛生管理区域に持ち込む際のルールを作成	対象	453	69.8		8.6	13.2	78.4
		非	344	71.5		9.3	11.3	80.8
	海外で使用した衣服等を衛生管理区域に持ち込む際のルールの作成	対象	431	69.1		2.3	10.4	71.4
		非	330	71.5		4.2	8.8	75.7
	消毒等、飲用水の適切な処理	対象	463	85.3		6.5	4.1	91.8
		非	351	87.2		7.1	3.4	94.3
	食品循環資源を原料としている場合、飼料用として適切に加熱等の処理している	対象	250	45.6		0.8	49.6	46.4
		非	191	46.1		1.6	49.2	47.7
	安全な資材（野菜・穀物等収穫した飼料原料）の利用	対象	336	69.9		1.2	27.1	71.1
		非	244	67.2		1.2	31.1	68.4
野生動物・家畜	衛生管理区域への野生動物の侵入防止（防護柵の設置等）	対象	460	83.7		9.1	6.1	92.8
		非	354	86.2		9.0	2.3	95.2
	家畜を導入する際の健康観察等（導入元の衛生状態の確認・隔離豚舎等の利用）	対象	453	89.2		6.8	2.0	96.0
		非	352	91.5		4.8	1.7	96.3

(農場数)

(%)

(%)

取り組んでいる90%以上にマーキング

【図6】 衛生管理区域への病原体の侵入防止12項目の取り組み：「取り組んでいる計」各属性比較数表

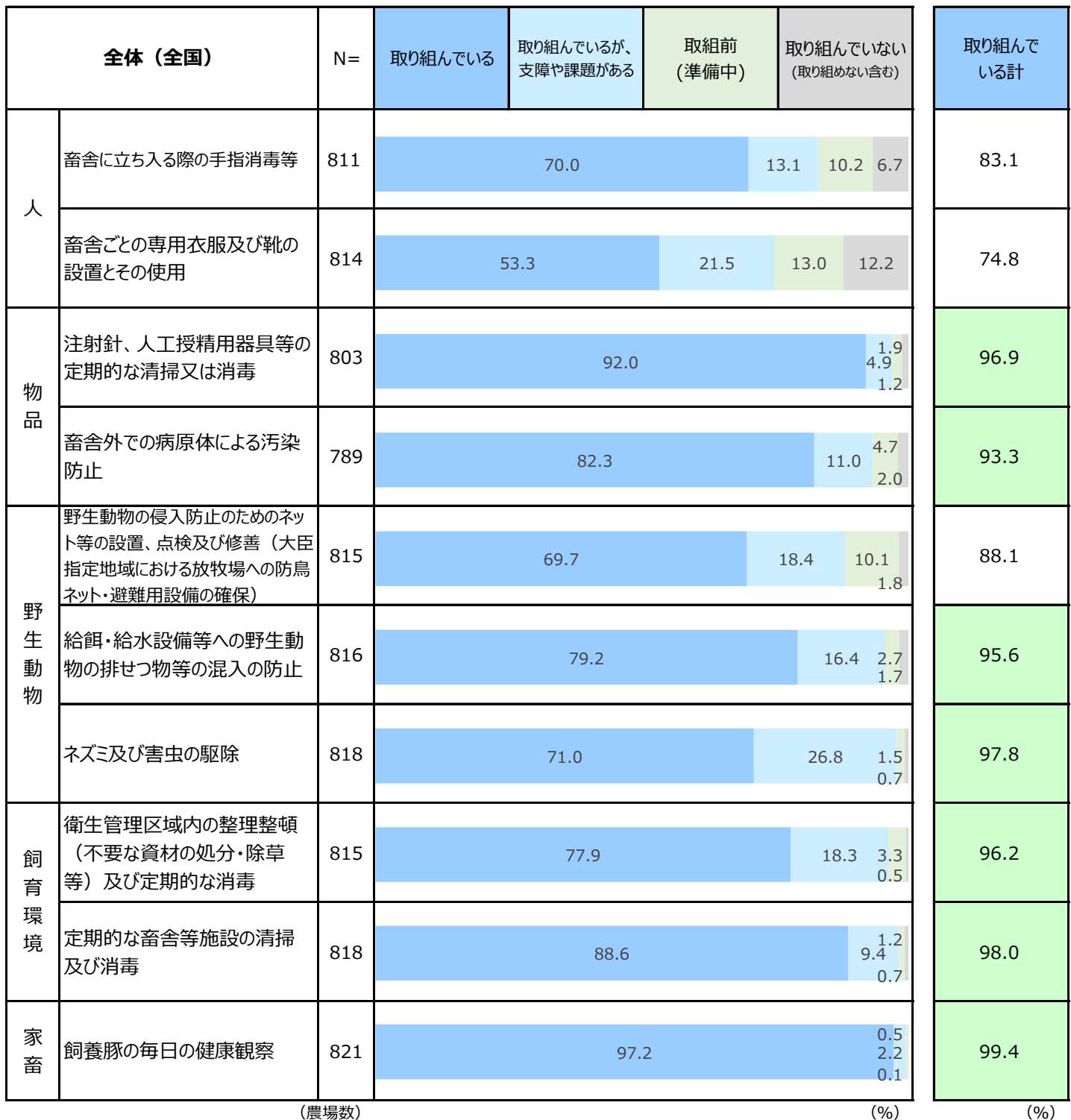
		人				物品					野生動物・家畜		
		衛生管理区域への必要のない者の立ち入りを制限	他の畜産関係施設等に立ち入った者等が衛生管理区域に立ち入る際のルールの作成	衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等の実施	衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等と消毒の実施記録などの作成	衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等と消毒の実施記録などの作成	海外で使用了た衣服等を衛生管理区域に持ち込む際のルールの作成	消毒等、飲用水の適切な処理	食品循環資源を原料としている場合、飼料用として適切に加熱等の処理している	安全な資材（野菜・穀物等収穫した飼料原料）の利用	衛生管理区域への野生動物の侵入防止（防護柵の設置等）	家畜を導入する際の健康観察等（導入元の衛生状態の確認・隔離豚舎等の利用）	
N=(農場数)		820	805	814	814	816	797	761	814	441	580	814	805
全体		99.5	88.3	87.5	92.4	86.2	79.4	73.4	92.9	46.9	70.0	93.9	96.2
地域別	北海道・東北	99.5	88.1	90.9	94.4	85.9	83.9	79.0	94.9	43.3	70.1	88.0	95.5
	関東	99.6	85.2	82.0	93.2	80.7	73.9	67.5	89.4	47.6	73.3	94.9	96.9
	北陸	100.0	80.6	87.1	96.8	96.8	87.1	72.4	100.0	70.6	80.0	100.0	100.0
	東海	100.0	97.2	98.6	95.9	94.4	91.5	83.6	93.0	36.8	66.7	97.2	95.7
	近畿	100.0	100.0	100.0	91.7	100.0	92.3	91.7	100.0	50.0	72.7	84.6	100.0
	中国・四国	98.4	93.7	90.6	92.1	87.5	76.2	70.9	93.7	38.9	60.8	98.5	95.3
	九州・沖縄	99.6	87.8	85.3	88.4	87.1	76.8	71.3	93.3	51.8	69.0	94.7	95.5
経営形態	個人経営	98.8	83.3	80.4	85.2	78.0	65.3	55.8	87.3	40.8	62.3	91.0	93.8
	法人経営	99.8	90.1	89.9	95.8	89.2	85.0	80.6	95.3	50.5	72.5	95.4	97.1
	その他	100.0	91.7	97.2	89.2	97.3	88.9	77.8	91.9	34.8	81.3	91.9	97.3
経営タイプ	肉豚生産経営（一貫生産）	99.7	87.0	85.6	91.7	85.2	77.8	72.4	92.0	45.0	70.1	93.9	95.9
	肉豚生産経営（肥育生産）	97.7	89.4	90.9	92.0	84.1	83.5	74.0	92.0	62.2	74.1	96.6	96.5
	繁殖経営（子豚販売）	100.0	97.5	97.6	97.5	95.3	82.5	76.3	100.0	51.9	76.6	85.7	95.2
	種豚場	100.0	100.0	96.9	100.0	100.0	100.0	87.8	100.0	44.4	63.0	97.0	100.0
飼育形態	ウインドレス型豚舎	100.0	95.4	92.4	98.1	90.5	89.6	87.0	95.4	46.4	73.4	94.7	97.7
	セミウインドレス型豚舎	100.0	93.7	89.3	96.9	89.9	85.5	78.1	96.2	45.9	70.1	93.1	98.2
	開放型豚舎	99.7	87.1	86.2	91.6	84.6	77.6	71.8	91.8	45.9	70.1	93.8	95.9
	放牧	100.0	100.0	100.0	90.9	91.7	63.6	54.5	100.0	44.4	80.0	100.0	100.0
	その他の形態	95.6	77.3	78.3	91.3	82.6	85.7	71.4	95.7	64.3	76.5	95.6	95.7
子取り雌豚頭数別	20頭未満	98.4	84.7	88.2	83.0	85.0	72.9	67.8	93.4	41.4	74.0	90.0	96.7
	20～49頭	100.0	85.5	74.2	83.9	72.6	68.3	57.4	87.1	41.2	68.1	85.3	90.2
	50～99頭	99.0	81.0	85.6	91.7	79.4	70.2	64.1	90.7	40.7	57.5	96.9	98.9
	100～199頭	100.0	84.1	78.0	92.1	84.1	72.7	60.8	90.1	48.7	75.3	92.7	93.3
	200～499頭	100.0	88.3	90.7	94.8	88.5	83.6	82.2	94.1	54.4	73.5	94.8	98.2
	500～999頭	100.0	98.8	95.2	96.4	92.8	91.6	91.7	97.7	41.3	61.9	95.1	97.5
	1000頭以上	100.0	95.1	96.3	98.8	97.6	93.9	87.4	97.5	47.6	79.0	97.6	97.5
出荷頭数別	400頭未満	100.0	81.2	84.3	80.0	78.6	70.8	58.8	88.4	35.4	69.1	83.8	95.5
	400～999頭	100.0	92.9	87.9	93.3	84.7	77.2	73.1	93.2	51.6	72.5	91.4	96.6
	1000～1999頭	99.0	81.5	84.7	91.8	78.8	68.1	62.4	89.8	43.1	62.5	95.0	96.9
	2000～3999頭	100.0	88.2	82.7	91.4	88.3	74.2	61.4	90.6	50.8	68.3	94.5	95.3
	4000～9999頭	100.0	88.7	87.4	96.0	88.0	83.9	81.8	95.3	55.1	78.1	93.3	97.3
	10000～19999頭	100.0	100.0	97.1	98.5	94.2	89.9	91.2	98.5	48.6	63.3	98.6	98.6
	20000頭以上	100.0	95.4	96.6	97.7	96.5	92.0	87.2	97.7	47.9	77.8	96.6	97.8
ワクチン	接種推奨地域	99.5	87.5	86.7	93.6	84.4	78.4	71.4	91.8	46.4	71.1	92.8	96.0
	非接種地域	99.4	89.5	88.4	90.9	88.7	80.8	75.7	94.3	47.7	68.4	95.2	96.3

注）取り組んでいる計＝「取り組んでいる」＋「取り組んでいるが、支障や課題がある」の合計値

（％）

Ⅲ.衛生管理区域の衛生状態の確保（畜舎内で拡げない）

【図7】 衛生管理区域の衛生状態の確保10項目の取り組み：全体（全国）グラフ



(農場数)

(%)

(%)

取り組んでいる90%以上にマーキング

【図8】 衛生管理区域の衛生状態の確保10項目の取り組み：接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

上段：接種推奨地域 下段：非接種地域		対象地域	N=	取り組んでいる	取り組んでいるが、 支障や課題がある	取組前 (準備中)	取り組んでいない (取り組めない含む)	取り組んでいる計
人	畜舎に立ち入る際の手指消毒等	対象	460	69.8	13.0	10.2	7.0	82.8
		非	351	70.4	13.1	10.3	6.3	83.5
	畜舎ごとの専用衣服及び靴の 設置とその使用	対象	462	54.1	21.4	12.3	12.1	75.5
		非	352	52.3	21.6	13.9	12.2	73.9
物品	注射針、人工授精用器具等の 定期的な清掃又は消毒	対象	455	91.9	5.5	1.5	1.1	97.4
		非	348	92.2	4.0	2.3	1.4	96.2
	畜舎外での病原体による汚染 防止	対象	448	83.5	9.8	4.7	2.0	93.3
		非	341	80.6	12.6	4.7	2.1	93.2
野生生物	野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修善（大臣指定地域における放牧場への防鳥ネット・避難用設備の確保）	対象	463	70.8	20.1	7.6	1.5	90.9
		非	352	68.2	16.2	13.4	2.3	84.4
	給餌・給水設備等への野生動物の排せつ物等の混入の防止	対象	462	79.0	17.1	2.6	1.3	96.1
		非	354	79.4	15.5	2.8	2.3	94.9
	ネズミ及び害虫の駆除	対象	465	71.6	25.6	1.9	0.9	97.2
		非	353	70.3	28.3	0.8	0.6	98.6
飼育環境	衛生管理区域内の整理整頓（不要な資材の処分・除草等）及び定期的な消毒	対象	462	78.6	18.0	3.2	0.2	96.6
		非	353	77.1	18.7	3.4	0.8	95.8
	定期的な畜舎等施設の清掃及び消毒	対象	465	87.5	10.1	1.7	0.6	97.6
		非	353	90.1	8.5	0.6	0.8	98.6
家畜	飼養豚の毎日の健康観察	対象	466	97.6	0.4	1.9	0.0	99.5
		非	355	96.6	0.6	2.5	0.3	99.1

(農場数)

(%)

(%)

取り組んでいる90%以上にマーキング

【図9】 衛生管理区域の衛生状態の確保10項目の取り組み：「取り組んでいる計」各属性比較数表

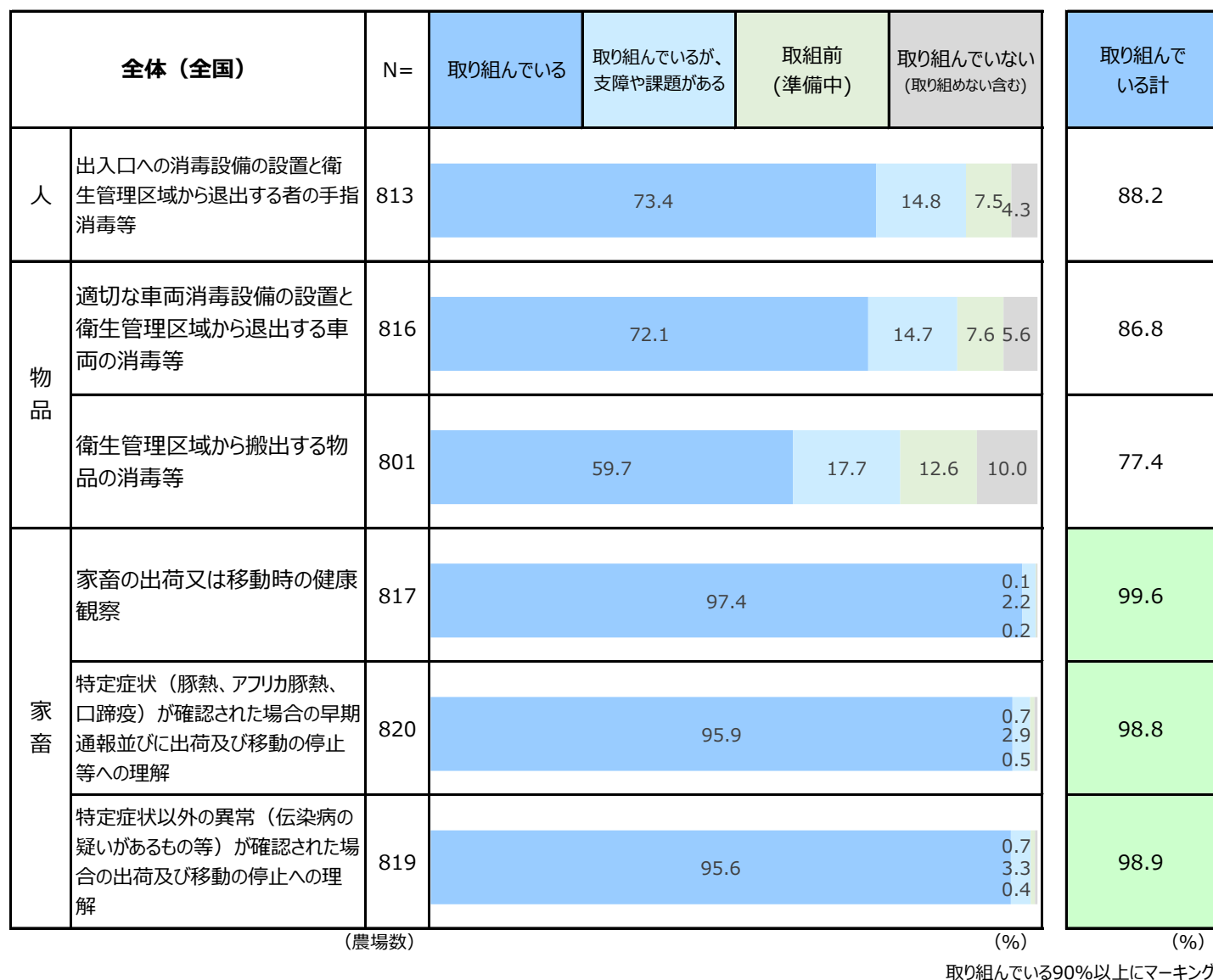
		人		物品		野生生物			飼育環境		家畜
		畜舎に立ち入る際の手指消毒等	畜舎ごとの専用衣服及び靴の設置とその使用	注射針、人工授精用器具等の定期的な清掃又は消毒	畜舎外での病原体による汚染防止	野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕（大臣指定地域における放牧場への防鳥ネット・避難用設備の確保）	給餌・給水設備等への野生動物の排せつ物等の混入の防止	ネズミ及び害虫の駆除	衛生管理区域内の整理整頓（不要な資材の処分・除草等）及び定期的な消毒	定期的な畜舎等施設の清掃及び消毒	飼養豚の毎日の健康観察
N=(農場数)		811	814	803	789	815	816	818	815	818	821
全体		83.1	74.8	96.9	93.3	88.1	95.6	97.8	96.2	98.0	99.4
地域別	北海道・東北	88.6	88.1	95.9	93.5	83.4	95.0	95.5	95.5	98.3	98.9
	関東	76.0	69.6	97.4	92.5	92.3	96.2	98.3	97.0	97.1	99.6
	北陸	96.8	93.6	100.0	96.8	96.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	東海	94.5	86.1	98.6	95.7	95.8	98.6	100.0	100.0	98.6	100.0
	近畿	92.3	69.2	100.0	100.0	92.3	100.0	92.3	92.3	100.0	100.0
	中国・四国	87.3	67.2	96.9	90.3	98.4	96.9	98.5	98.4	98.4	100.0
	九州・沖縄	79.0	66.1	95.9	93.1	80.4	93.4	98.2	93.8	98.2	99.1
経営形態	個人経営	74.6	61.3	94.9	90.3	82.8	92.3	94.7	92.3	94.3	98.4
	法人経営	86.2	81.1	97.9	94.4	89.8	96.9	99.2	97.7	99.6	99.8
	その他	91.7	72.3	97.2	94.4	97.3	100.0	97.3	100.0	100.0	100.0
経営タイプ	肉豚生産経営（一貫生産）	81.0	71.7	97.0	92.4	87.6	95.8	98.3	96.1	97.6	99.5
	肉豚生産経営（肥育生産）	87.4	85.1	92.6	96.3	87.5	94.3	95.5	94.3	98.9	97.7
	繁殖経営（子豚販売）	97.6	81.0	100.0	97.5	88.1	92.9	95.1	97.6	100.0	100.0
	種豚場	93.8	93.8	100.0	96.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
飼育形態	ウインドレス型豚舎	89.7	88.9	99.2	96.9	92.8	99.2	99.2	98.5	99.6	100.0
	セミウインドレス型豚舎	88.6	79.6	98.7	94.3	88.0	99.4	99.4	97.5	99.4	99.4
	開放型豚舎	80.3	70.7	96.8	92.9	87.6	95.0	98.0	95.6	97.6	99.4
	放牧	90.9	81.8	91.7	81.8	90.9	91.7	91.7	91.7	100.0	100.0
	その他の形態	78.3	77.3	100.0	100.0	95.7	95.5	95.6	95.7	95.7	95.6
子取り雌豚頭数別	20頭未満	78.0	66.1	94.8	88.0	86.7	93.4	95.1	96.5	98.3	100.0
	20～49頭	73.8	59.7	88.5	91.6	78.7	90.3	93.5	91.9	90.2	98.3
	50～99頭	75.5	65.3	94.9	90.3	83.7	92.9	98.9	90.9	95.0	100.0
	100～199頭	76.0	68.0	98.7	89.9	86.8	96.7	99.4	96.0	98.0	99.4
	200～499頭	87.2	79.7	98.3	94.8	90.7	97.7	99.5	98.8	100.0	100.0
	500～999頭	89.1	88.0	100.0	97.6	95.2	97.6	98.8	100.0	100.0	98.8
	1000頭以上	92.7	82.0	100.0	95.2	91.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
出荷頭数別	400頭未満	75.3	68.1	92.6	89.4	81.2	94.3	94.3	94.1	97.1	98.6
	400～999頭	86.0	70.7	93.0	92.7	84.8	93.3	93.2	93.2	91.6	100.0
	1000～1999頭	77.8	64.7	95.0	91.7	84.8	92.9	98.0	92.0	97.0	99.0
	2000～3999頭	81.1	68.5	98.4	90.4	89.1	95.3	99.2	96.1	97.6	100.0
	4000～9999頭	84.6	79.3	96.7	94.6	89.4	98.0	99.4	98.0	100.0	100.0
	10000～19999頭	94.2	88.4	100.0	98.5	97.1	100.0	100.0	100.0	100.0	98.6
	20000頭以上	95.4	86.4	100.0	95.4	92.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ワクチン	接種推奨地域	82.8	75.5	97.4	93.3	90.9	96.1	97.2	96.6	97.6	99.5
	非接種地域	83.5	73.9	96.2	93.2	84.4	94.9	98.6	95.8	98.6	99.1

注）取り組んでいる計＝「取り組んでいる」＋「取り組んでいるが、支障や課題がある」の合計値

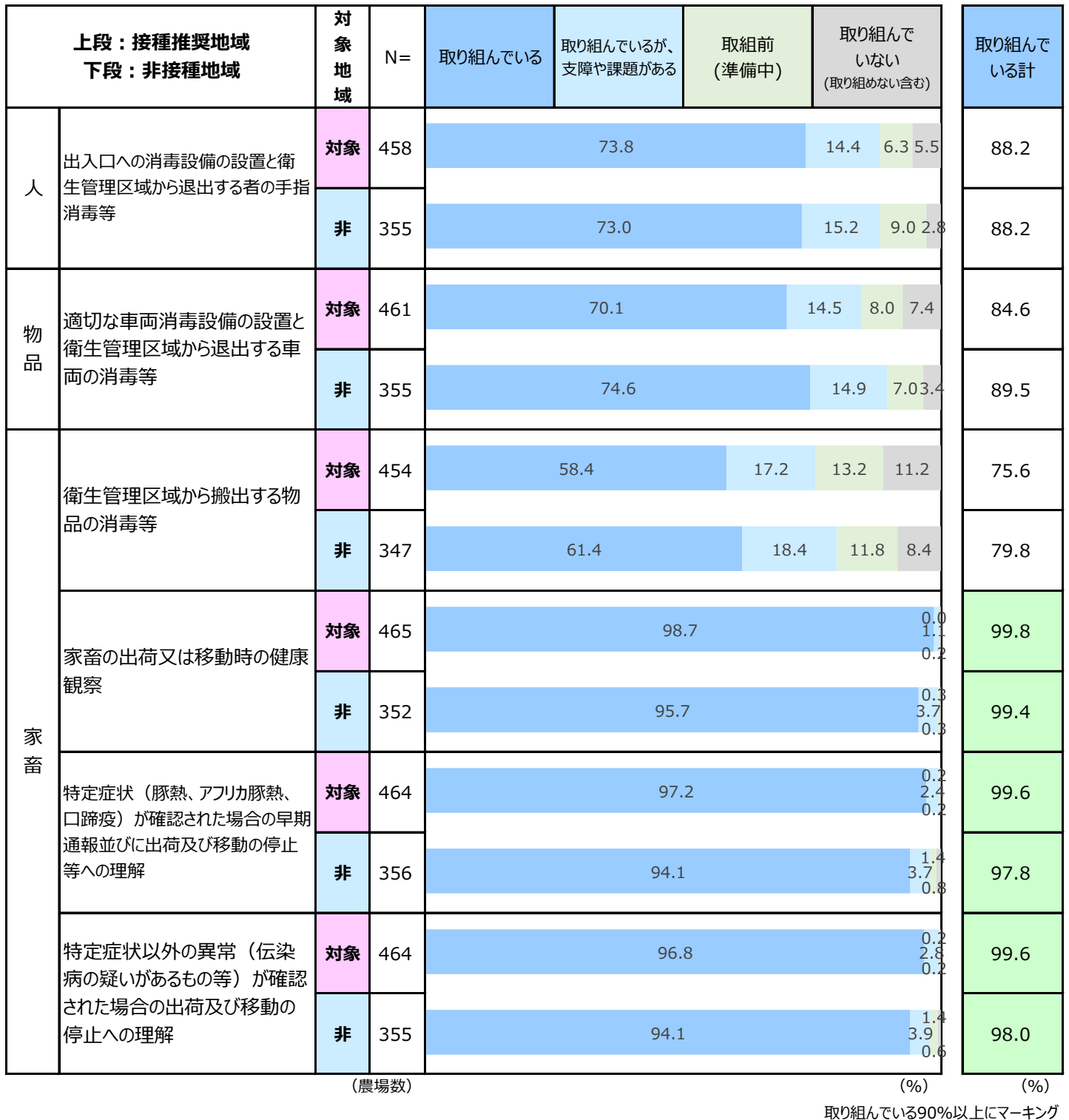
（％）

IV. 衛生管理区域からの病原体の散逸予防（退出時に外へ出さない）

〔図10〕 衛生管理区域からの病原体の散逸予防6項目の取り組み：全体（全国）グラフ



【図11】 衛生管理区域からの病原体の散逸予防6項目の取り組み：接種推奨地域・非接種地域比較グラフ



【図12】 衛生管理区域の衛生状態の確保10項目の取り組み：「取り組んでいる計」各属性比較数表

		人	物品	家畜			
		出入口への消毒設備の設置と衛生管理区域から退出する者の手指消毒等	適切な車両消毒設備の設置と衛生管理区域から退出する車両の消毒等	衛生管理区域から搬出する物品の消毒等	家畜の出荷又は移動時の健康観察	特定症状（豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫）が確認された場合の早期通報並びに出荷及び移動の停止等への理解	特定症状以外の異常（伝染病の疑いがあるもの等）が確認された場合の出荷及び移動の停止への理解
N=(農場数)		813	816	801	817	820	819
全体		88.2	86.8	77.4	99.6	98.8	98.9
地域別	北海道・東北	90.4	85.8	81.5	100.0	98.9	99.4
	関東	84.0	82.1	71.6	100.0	99.6	99.6
	北陸	96.6	96.7	93.6	100.0	100.0	100.0
	東海	94.5	88.7	81.7	98.6	100.0	100.0
	近畿	92.3	76.9	76.9	100.0	100.0	100.0
	中国・四国	92.2	90.8	79.0	100.0	98.4	98.5
	九州・沖縄	86.2	89.8	76.1	99.1	97.3	97.3
経営形態	個人経営	80.7	79.5	68.7	99.6	98.3	98.8
	法人経営	91.0	89.2	80.3	99.6	98.9	98.9
	その他	100.0	100.0	89.2	100.0	100.0	100.0
経営タイプ	肉豚生産経営（一貫生産）	87.0	85.2	75.1	99.9	99.5	99.4
	肉豚生産経営（肥育生産）	89.7	92.0	88.2	97.7	96.6	97.8
	繁殖経営（子豚販売）	97.6	95.4	90.7	100.0	95.4	97.7
	種豚場	97.0	94.0	75.0	100.0	93.9	93.9
飼育形態	ウインドレス型豚舎	90.5	85.6	77.9	100.0	99.7	99.7
	セミウインドレス型豚舎	92.5	90.7	79.1	100.0	98.8	98.8
	開放型豚舎	86.8	86.1	75.2	99.6	98.7	98.7
	放牧	81.8	81.8	81.8	100.0	100.0	100.0
	その他の形態	82.6	91.3	81.8	100.0	95.7	100.0
子取り雌豚頭数別	20頭未満	88.2	85.3	79.6	100.0	100.0	100.0
	20～49頭	76.7	77.1	62.1	98.4	100.0	98.3
	50～99頭	84.7	85.7	73.0	100.0	100.0	100.0
	100～199頭	84.5	85.1	72.3	100.0	99.3	99.4
	200～499頭	93.6	91.4	81.4	100.0	98.3	98.3
	500～999頭	90.5	85.7	84.1	100.0	100.0	100.0
	1000頭以上	93.9	89.2	78.1	100.0	98.8	98.8
出荷頭数別	400頭未満	81.4	81.7	75.4	97.2	98.6	98.6
	400～999頭	88.2	85.0	71.9	100.0	100.0	98.3
	1000～1999頭	84.7	82.5	72.6	100.0	100.0	100.0
	2000～3999頭	86.4	89.6	77.6	100.0	98.5	98.4
	4000～9999頭	94.1	90.7	78.6	100.0	98.1	98.0
	10000～19999頭	90.0	85.7	83.9	100.0	98.6	98.5
	20000頭以上	94.3	89.8	81.6	100.0	100.0	100.0
ワクチン	接種推奨地域	88.2	84.6	75.6	99.8	99.6	99.6
	非接種地域	88.2	89.5	79.8	99.4	97.8	98.0

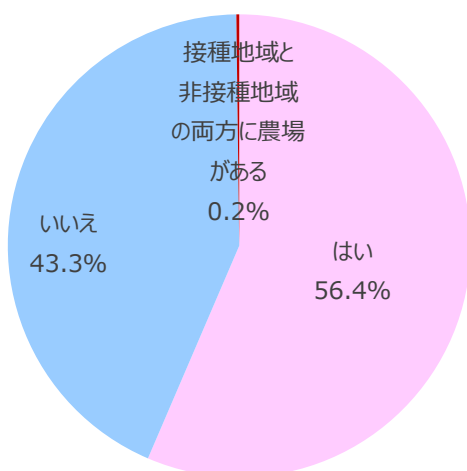
注）取り組んでいる計＝「取り組んでいる」＋「取り組んでいるが、支障や課題がある」の合計値

（％）

豚熱ワクチン接種推奨地域の設定について

豚熱ワクチン接種推奨地域の有無

【図1】 豚熱ワクチン接種推奨地域の有無：全体（全国）グラフ

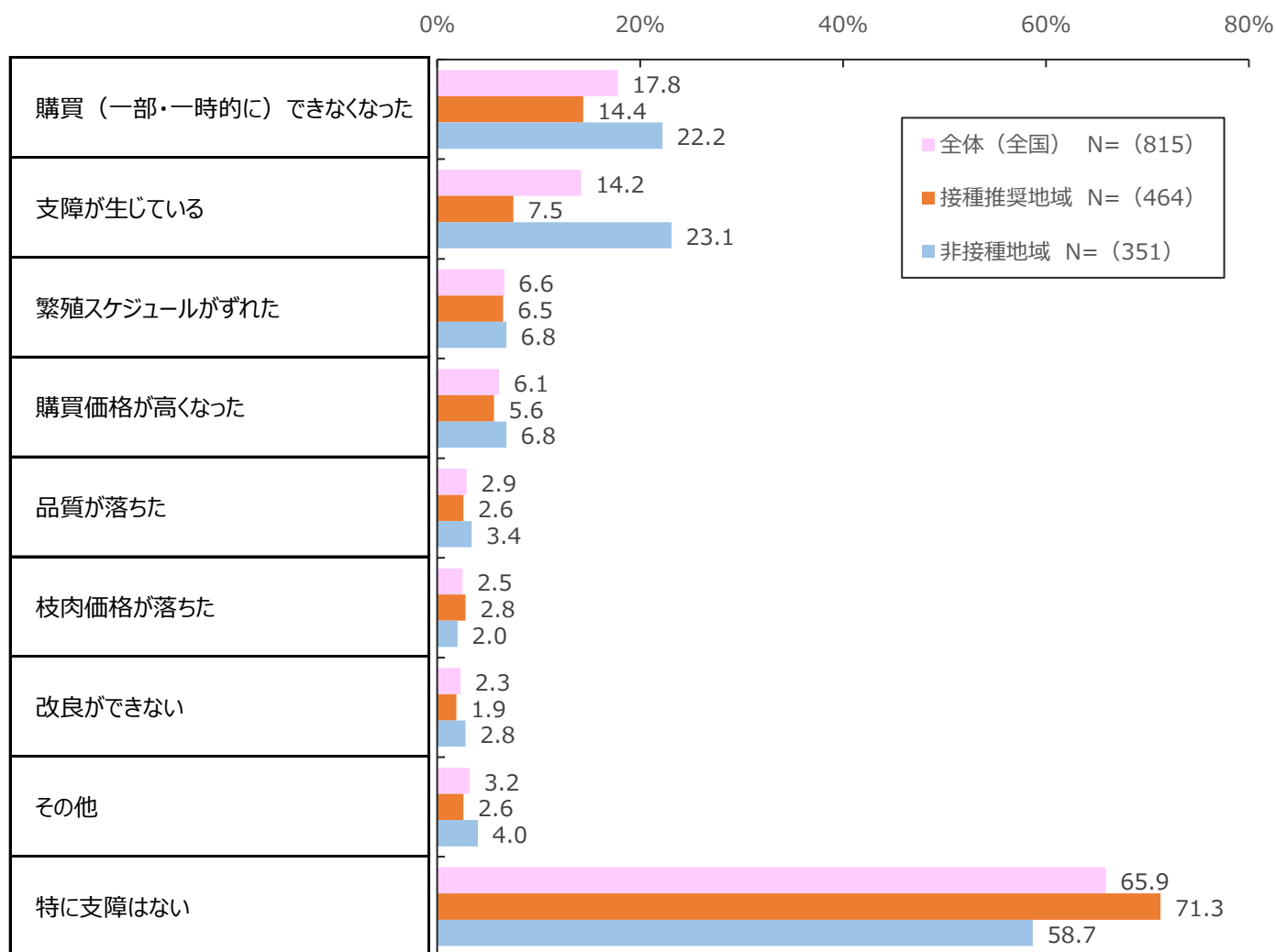


N=815

【種豚（生体、精液など）流通の支障について】種豚の購買についての支障の有無

【図2】 種豚の購買についての支障の有無：全体（全国）・接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

複数回答



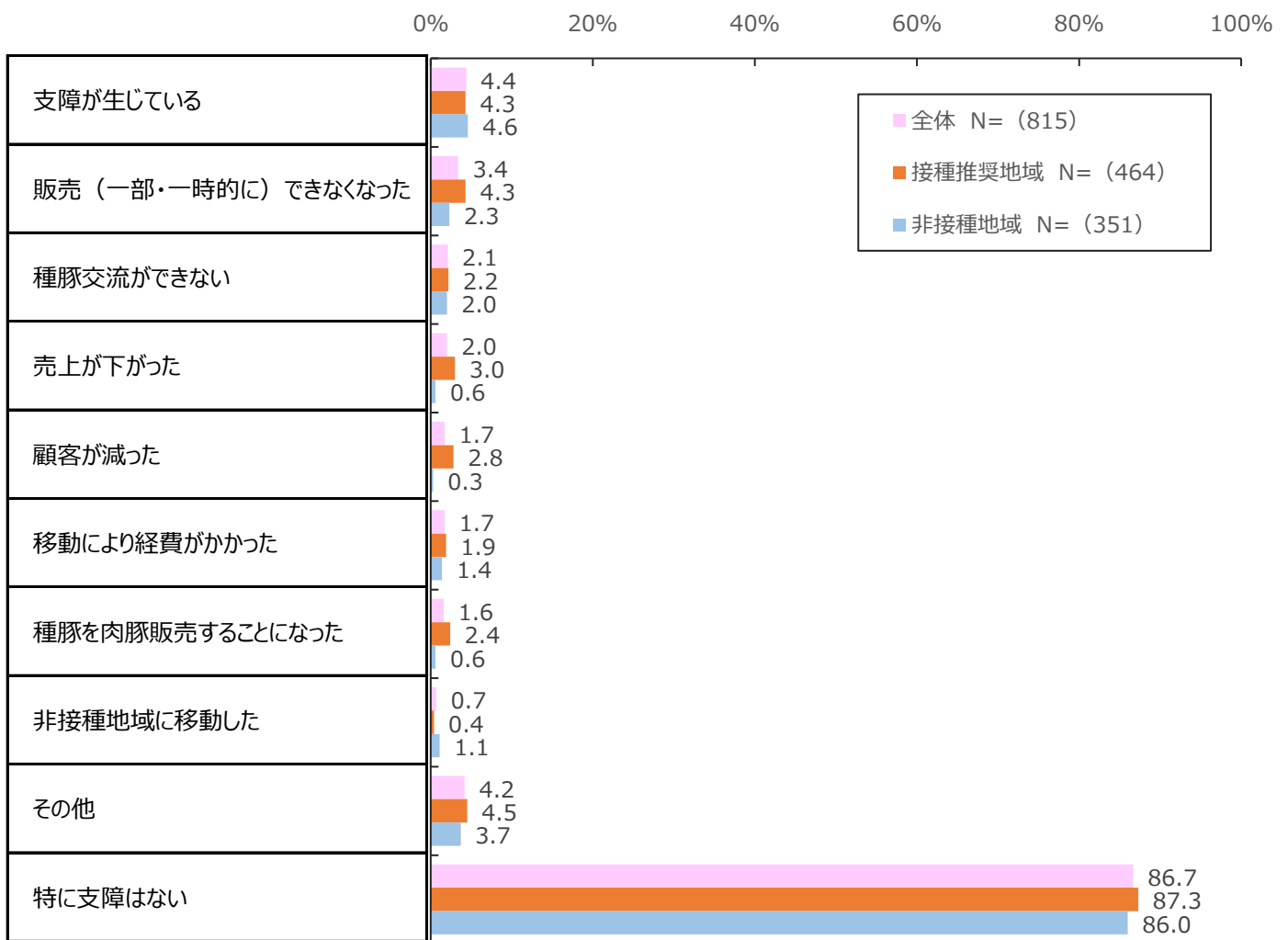
N=815

注）全体の高い順にソートしています。

【種豚（生体、精液など）流通の支障について】種豚の販売についての支障の有無

【図3】 種豚の販売についての支障の有無：全体（全国）・接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

複数回答



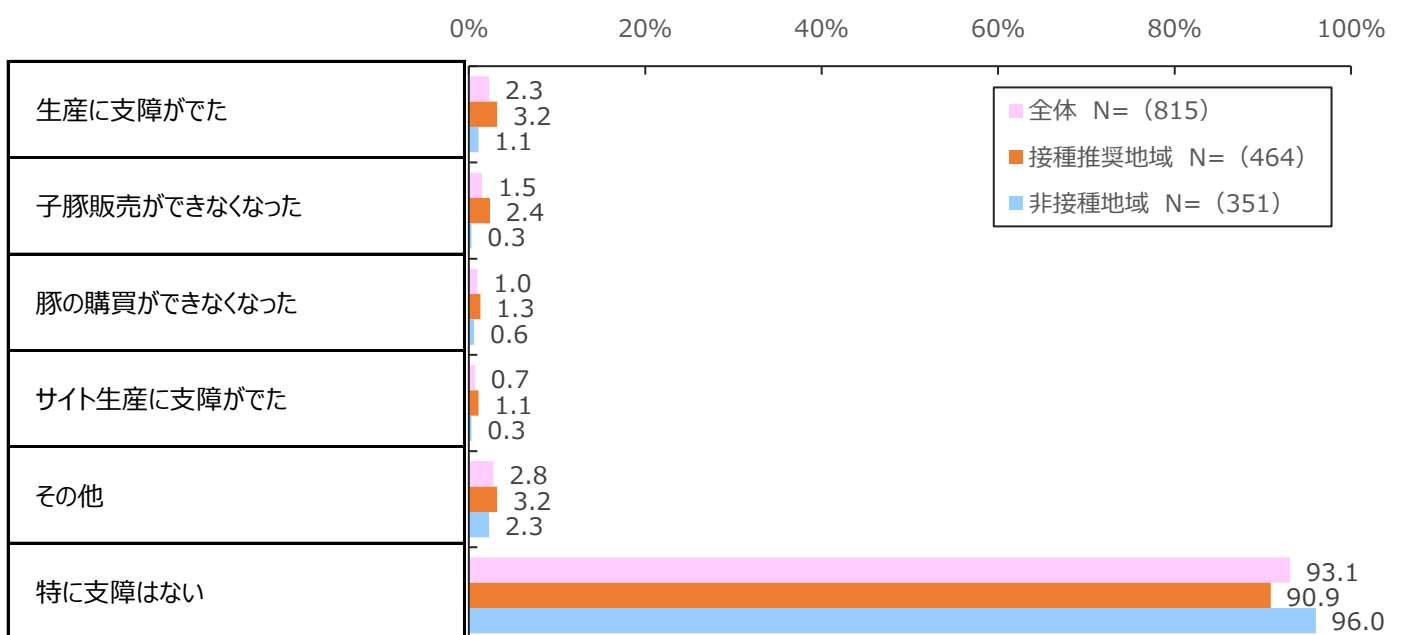
N=815

注) 全体の高い順にソートしています。

【肥育豚流通の支障について】肥育用もと豚（子豚）の流通に支障の有無

【図4】 肥育用もと豚（子豚）の流通に支障の有無：全体（全国）・接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

複数回答



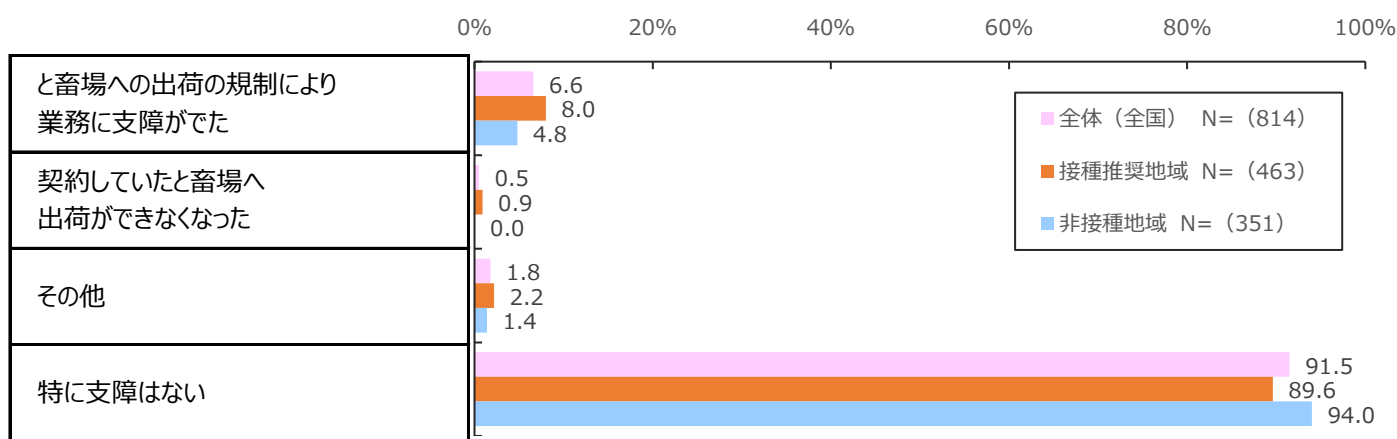
N=815

注) 全体の高い順にソートしています。

肉豚出荷で流通に支障の有無

【図5】 肉豚出荷で流通に支障の有無：全体（全国）・接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

複数回答

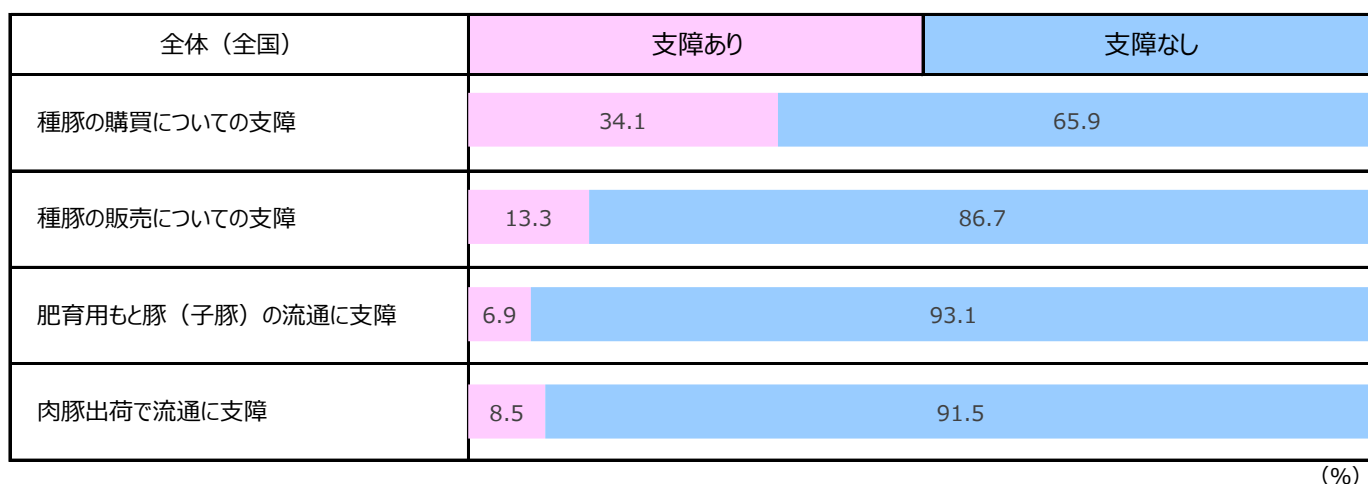


N=814

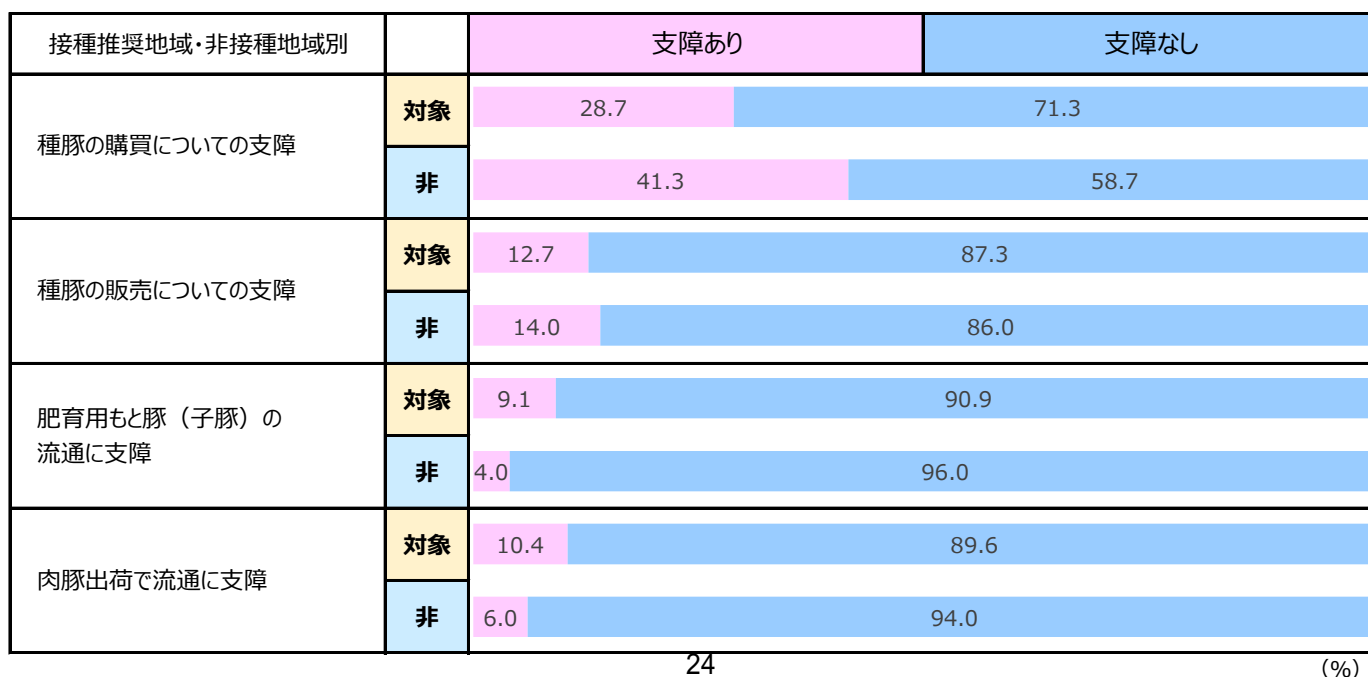
注) 全体の高い順にソートしています。

4項目での支障の有無の相対比較

【図6】 4項目での支障の有無の相対比較：全体（全国）比較グラフ

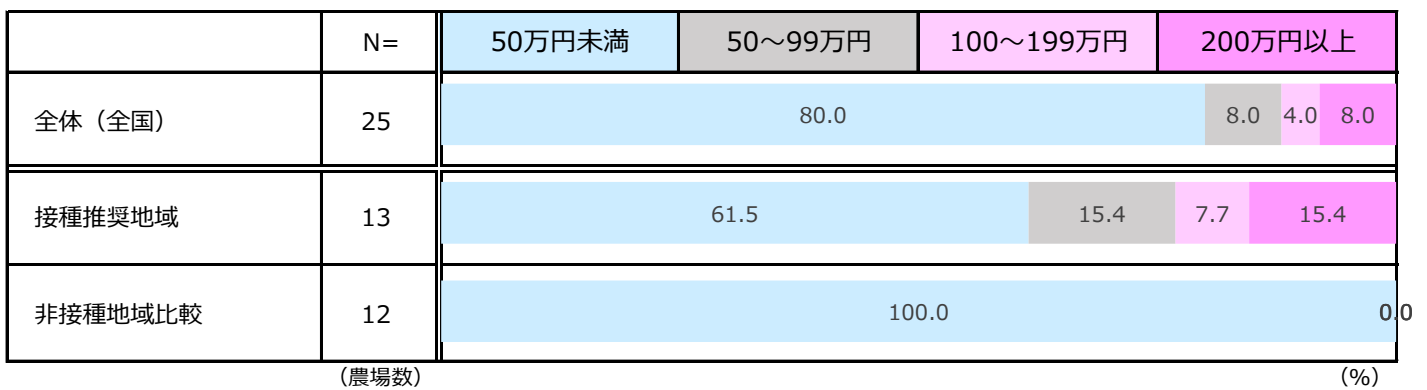


【図7】 4項目での支障の有無の相対比較：接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

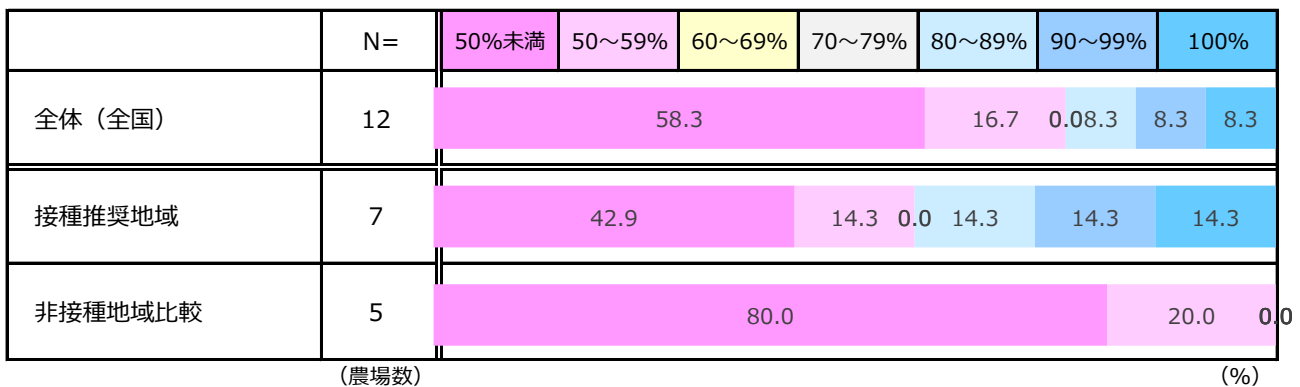


流通の支障により現在までの被害総額

〔図8〕 流通の支障により現在までの被害総額：全体（全国）・接種推奨地域・非接種地域比較グラフ

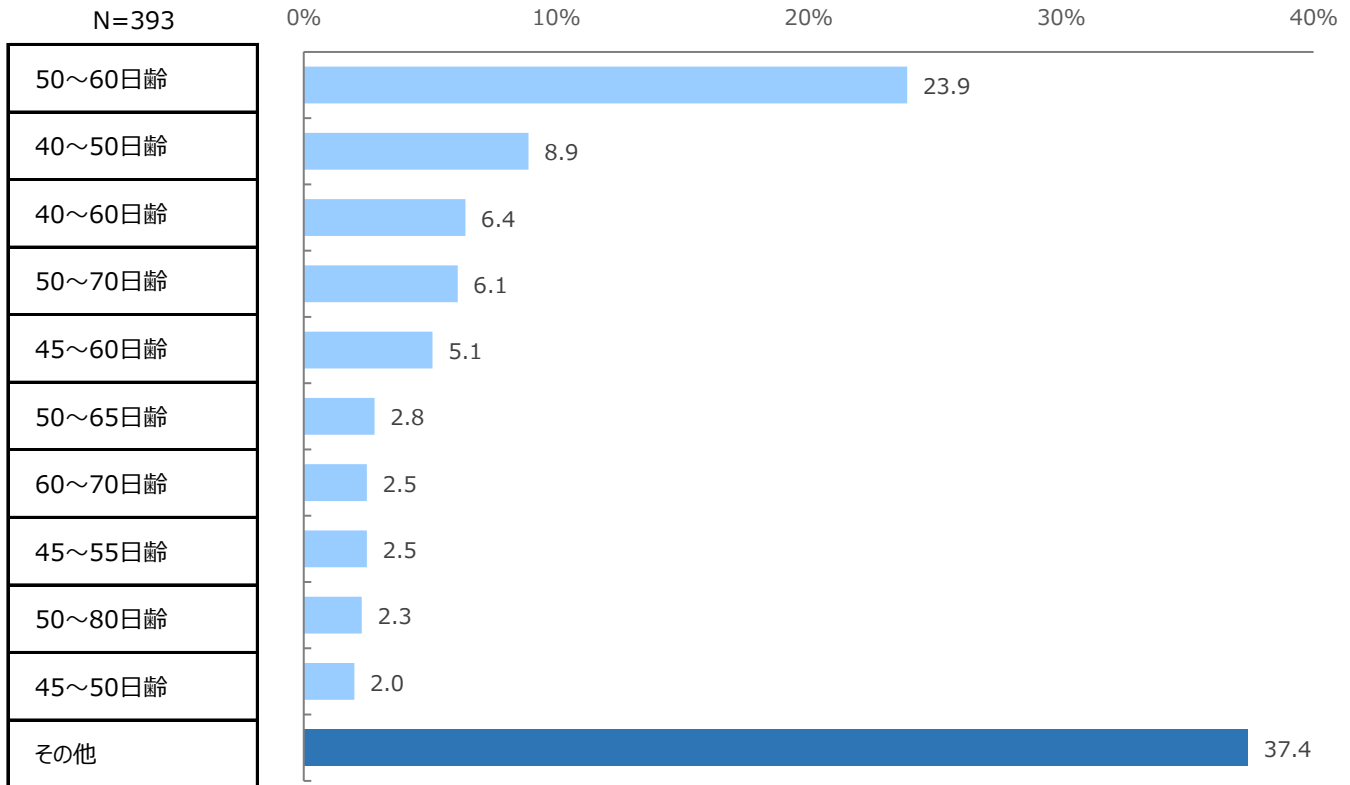


〔図9〕 今後の回復見込み：全体（全国）・接種推奨地域・非接種地域比較グラフ



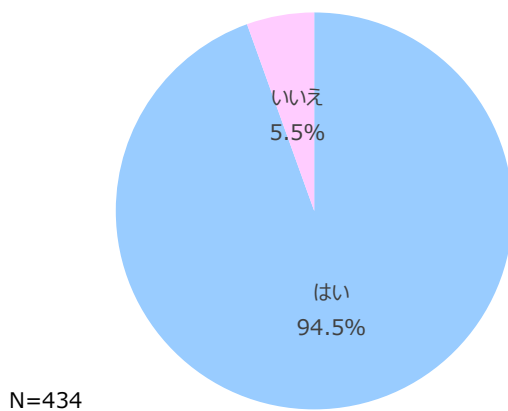
ワクチン接種のタイミング日齢

【図10】 初回接種を除くワクチン摂取のタイミング日齢：ワクチン接種ベース



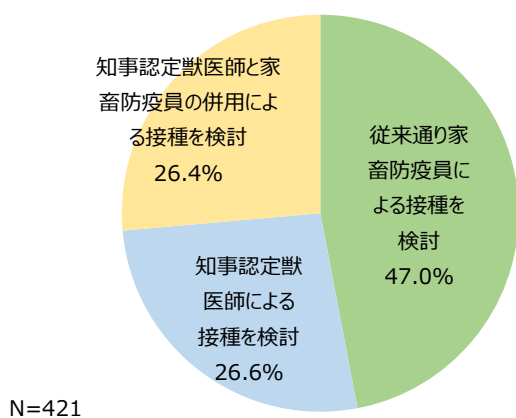
現在、希望する時期に接種可能か？

【図11】 希望する時期に接種可能か？：ワクチン接種ベース



令和3年度より知事認定獣医師（民間獣医師）による接種が可能となった場合の接種者

【図12】 接種者の検討状況：ワクチン接種ベース



■ 飼養衛生管理基準に関する調査（令和2年度）で寄せられたフリー回答意見まとめ

1 飼養衛生管理基準の取り組みに関して

[I 家畜防疫 12 項目（防疫ルール）]について

○ 飼養衛生管理マニュアルの作成（Q 6 S 3）

どの程度までか不明。家保と取り組む。作成したが実行はまだ。作成していないが、従事者で確認。

○ 衛生管理記録の作成・保管（Q6S4）

ノートを豚舎ごとに。家族の理解が必要。取り組みは進んでいる。現場から報告。

○ 特定症状発見時の通報ルール（Q6S5）

家保と連絡。少人数で、作成していないが相互確認。

○ 大臣指定地域の取り組みの習熟（Q 6 S7）

指定されていない。理解できていない（多数）。

○ 衛生管理区域の設定（Q 6 S8）

公道が農場間にある。都市型畜産で線引き困難。農道と畜舎の幅ない。

○ 埋設地等の準備（Q6S10）（フリー回答多数）

確保困難、近隣との調整・同意要。自有地でないので困難。面積的に余裕ない。

水田では埋却難しい。

○ 犬猫等の愛玩動物の飼養禁止（Q6S11）

この施策はおかしい。飼養している犬猫は家族で野良猫が問題。

ネズミ防除のため猫は必要。（リードで））。今飼っているものを処分できない。

優先順位が違う、もっと根本的にやる水際対策とかを徹底してから。

野鳥対策が重要で、犬猫の飼養は不可欠。

○ 衛生管理区域への立ち入り制限（Q7S13）

農道、村道があり、近所の人出入り止められない。

○ 立ち入る際のルールの作成（Q 7 S 1 4）

ルールは作成していないが、常識としてとらえている。書面にはしていない。

○ 立ち入る者の手足の消毒（Q 7 S 1 5）

徹底が難しい（資料運搬や外部者）。棟毎は無理（基準作成者が現場をわかっていない）。

○ 専用の衣服及び靴の設置とその使用（Q 7 S 1 6）

小規模では無理、衣服の交換はしていない。（飼料運搬者など）着替室の設置難しい。

■飼養衛生管理基準に関する調査（令和2年度）で寄せられたフリー回答意見まとめ

- 立ち入る車両の消毒、記録などの作成（Q7S17）
消毒はするが、記録は時間手間がかかりしていない。（同意見多数）
- 循環資源の飼料用としての加過熱等の処理（Q7S21）
利用していない（フリー回答多く、実施していない者としてカウントされている）

[衛生管理区域の衛生状態の確保]

- 野生動物の侵入防止（防護柵等の設置）（Q7S23）
ネズミ駆除は不可能、柵、ネットでは小動物等の侵入防止には不十分。
雪シーズンは侵入しやすいので、フェンスが4m必要だが、雪で破損するので設置無理。
地理的に無理、経費膨大。
- 畜舎毎の専用の衣服及び靴の設置と使用（Q8S26）（フリー回答多数）

[衛生管理区域の衛生状態の確保]

- 長靴のみ、衣服は実施せず。
着替えは無理（畜舎構造、豚の移動、小規模では作業上無理。
安全な衣服・靴の設置場所が確保できない。
- 野生動物侵入防止ネット等の設置、点検（Q8S29）
畜舎老朽で対応できず。災害等で支出多く無理。
防虫ネット工事業者多忙で見通し立たず。柵はあるがネットはない。
- 給餌給水設備等への野生動物の排せつ物等混入（Q8S30）
ネズミ対策が難しい。
- ネズミ害虫の駆除（Q8S31）（フリー回答多数）
駆除しても減らない。
- 退出する者の手指の消毒等（Q9S35/36）（フリー回答多数）
退出時は不十分。退出車両の消毒不十分。

■飼養衛生管理基準に関する調査（令和2年度）で寄せられたフリー回答意見まとめ

2 豚熱ワクチン接種推奨地域の設定について（回答のうち56%が推奨地域内）

- 肉豚出荷（Q14）
出荷時間の制限（残業等）、背中でのマーキングのスプレー代と手間
- 種豚・子豚・肉豚の流通に関して希望する取り組み（Q16）（フリー回答多数）
将来不安。新に出荷・購入ルートを探す必要。
ワクチン接種日齢の徹底、早期化。
全国接種を望む。
ワクチン接種代と作業時間増。
- ワクチン接種に関する意見（フリー回答多数）
ワクチン接種者の人手不足。
ワクチン接種日齢、接種料金が県でまちまち。（負担増）
子豚での発生を抑えるべき。
ワクチン接種代と作業時間増。
ワクチン代と接種料金、高すぎる、国等が負担すべき。
従業員によるワクチン接種を要望。（負担大きい）
ワクチン接種しても抗体価が上がらない。
ワクチン接種に来る者が衛生管理マニュアル違反している。不安。
ワクチン接種しても、根本的にイノシシ対策等が不十分、省横断で徹底すべき。
ワクチン効果を疑う。
いろいろアンケートばかりで対策を講じない。

飼養衛生管理徹底等による養豚産業基盤強化事業
(日本中央競馬会 特別振興資金助成事業)

令和 3 年 8 月発行

発行所：一般社団法人 日本養豚協会 (JPPA)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

TEL：03-3370-5473

FAX：03-3370-7937

E-Mail：info@pig.lin.gr.jp